NIE実践報告

1．タイトル：☆テーマ別スクラップのグループ学習

2．学校名

高知県立高知西高等学校

3．実践者名（代表者名）

竹内　綾子

4．学年

第2学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

総合的な学習の時間　35人

6．単元（本時の学習課題）名

テーマ別スクラップのグループ討議と意見文作成

7．目標（狙い）

グループで討議し、意見文を作成することで、表現力やコミュニケーション能力を育成する。

8．評価の視点

(1)個人の取り組みに対する評価
　自分の意見を持ち発表できたか、資料集めなど問題解決への意欲が見られるか
(2)グループの中での評価

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

テーマ型スクラップ学習②グループ討議(全2時間)
本校では総合的な学習の時間でスクラップ学習①②(合計5時間)を通して、個人で考え、グループで話し合い意見

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

テーマ別スクラップのグループ討議と意見文作成(総合的な学習の時間:全2時間)
　(1)各自選択したテーマに基づいて新聞記事をスクラップし意見文を書く(1時間)
　(2)テーマ別グループで、各自の意見文を発表する。
　　今後の指針にするため、振り返り、自他の評価を行う。
　　他者との意見の違い、共通意見を整理し、グループとしてまとめる。(1時間)
(留意点)
　(1)テーマを明示する。
　　1.環境　2.福祉　3.情報社会　4.国際理解　5.科学技術　6.現代の日本社会
　(2)ワークシートを活用する。
　　役割分担(司会・書記)、自他の発表(内容、声、態度など)
　　グループのまとめ(意見の違い、共通意見の整理、まとめ)

11．児童・生徒の反応、感想・意見

(1)他者と比較できたことで新しい観点が開けた。
　　同じテーマでも収集する記事が違う。記事が同じでも意見が多種多彩である。
(2)グループで一つのテーマに取り組むことで、協力することの大切さを学んだ。

12．成果と課題

本校2年生のスクラップ学習と1年生のそれとの違いは以下の2点である。
　(1)進路の目標に応じてテーマ別に実施すること
　(2)個人からグループ、クラス、学年と大きな集団の中で意見を育んでいくこと
指導者が上記に留意しながら、「総合的な学習の時間」に2年生全クラスで同時進行する。この体制が完成して3年になるため、個人やクラスの個性と集団の到達目標との間に乖離が生じないよう、より発展的になるよう、本年度より検討に入っている。